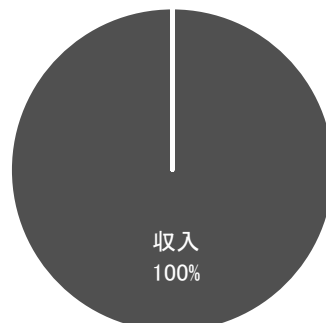


令和7年度展覧会事業について（主催展）

展覧会事業は、入場料等と公費負担（市民の皆様に納めていただく税金）で運営しています。令和7年度に京都市が主催した展覧会の負担割合は以下のとおりです。

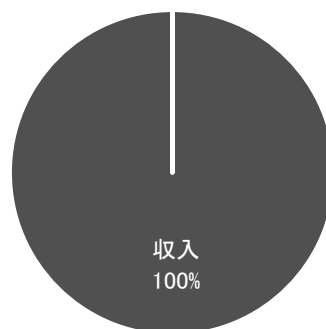
民藝誕生100年—京都が紡いだ日常の美

支 出：	30,000千円	会 期：	R7. 9. 13～R7. 12. 7
収 入：	60,188千円	入場者数：	56,835人
公費負担：	0千円		



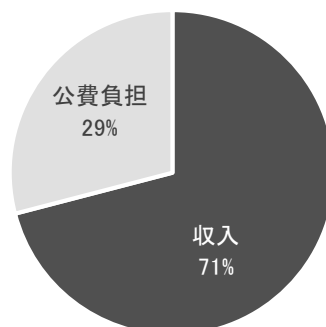
中立点 | In-Between—第19回ヴェネチア・ビエンナーレ 国際建築展日本館展示帰国展

支 出：	0千円	会 期：	R8. 1. 24～R8. 3. 1
収 入：	1,639千円	入場者数：	4,523人
公費負担：	0千円		



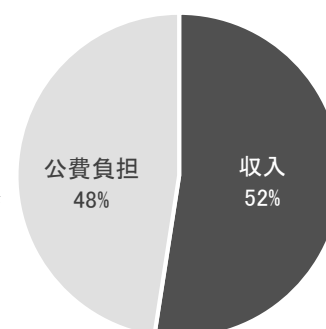
第118回日展京都展

支 出：	40,000千円	会 期：	R7. 12. 20～R8. 1. 17
収 入：	28,382千円	入場者数：	24,595人
公費負担：	11,618千円		



コレクションルーム

支 出：	51,164千円	会 期：	春期 R7. 4. 11～R7. 6. 15
収 入：	26,840千円	夏期 R7. 6. 20～R6. 8. 31	
公費負担：	24,323千円	秋期 R7. 10. 24～R7. 12. 14	
		冬期 R7. 12. 19～R8. 3. 15	
		入場者数：	55,847人



※ 「日本画アヴァンギャルド KYOTO 1948-1970」（会期：R8. 2. 7～R8. 5. 6）、
「西洋絵画 400 年の旅—珠玉の東京富士美術館コレクション」（会期：R8. 3. 20～R8. 5. 24）は集計中

文化市民局美術館（075-771-4107）